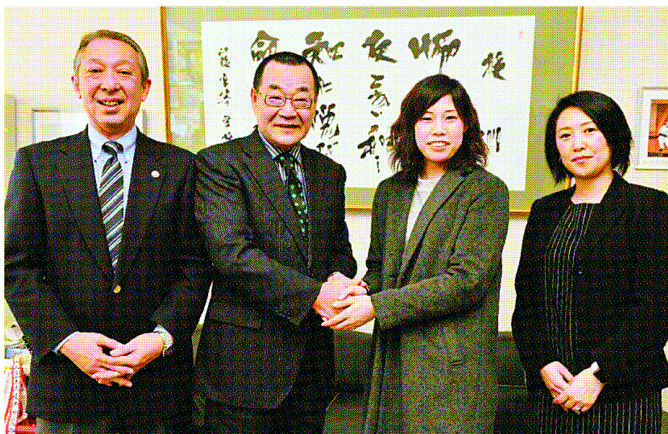


江陵高で近藤選手を激励

アイスホッケー平昌五輪代表 母校訪問



小川会長（左）、鈴木校長（左から2人目）、鷹栖クラブ振興会長（右）から激励を受ける、近藤選手（右から2人目）（20日午前11時15分ごろ、江陵高校で。金野和彦撮影）

男子アイスホッケー部員と一緒に練習したおかげで力が付いた。現状はチーム3番手のGKだが、万全の準備をして五輪に挑みたい」と意欲を新たにしていた。

近藤選手はフィンランドで行われた5カ国対抗戦を終えて18日に帰勝。21日に長野市に入り、24、25両日の日本代表壮行試合に備える。（松村智裕）

【幕別】平昌冬季五輪の女子アイスホッケー日本代表（スマイルジャパン）に選ばれているGK近藤真衣選手（25）はフルタイムシステム御影グレッズが20日午前、母校の江陵高校（鈴木譲二校長、生徒3337人）を訪れ、学校関係者から激励を受けた。

近藤選手は2010年度の卒業生で、同校出身者が五輪日本代表に選ばれるのは初めて。19日から入り口前に近藤選手の代表入りを祝う看板を掲示している。鈴木校長が校長室で近藤選手を迎え、「本校始まって以来の快挙で後輩たちの見本。良い成績を挙げてほしい」と笑顔でエールを送った。同窓会の小川敏也会長、クラブ振興会の鷹栖利恵会長が激励金を手渡した。近藤選手は「高校時代に

動画あり
電子版